

平成26年度 事業報告

からまつ保育園

計 画	実施状況
1 事業 (1)保育所 からまつ保育園 ①補助金事業 子育てひろば事業D型 「からまつファミリーサポートセンター」 ②補助金事業 障害児保育事業 ③補助金事業 延長保育事業 ④自主事業 一時保育事業 (2)委託事業 病後児保育事業 「からまつキッズウイングルーム」	計画どおり
2 経営方針	計画どおり
3 行動指針	計画どおり
4 収支目標 からまつ保育園 入所率 108%を上回る入所 全体の経営収支は健全経営を行う。	入所率 106 % 入所率は106パーセントにとどまったが、安全を十分に配慮し運営を行った。 経常収支は健全経営を行うことができた。
5 実施内容	
(1) 施設の安心・安全な運営	
① 社会的な信頼の確保と向上 ・ 各種法令や規程に基づいて、個人情報等適正な管理運営を行ない、職員には守秘義務の徹底を図る。 ・ 第三者評価及び利用者アンケートを受審し、高い評価が得られるサービスに努める。 ・ 児童福祉施設最低基準に基づいて、職員配置基準および必要面積数等を遵守する。	①個人情報等の扱いについて職員に徹底を図った。 第三者評価及び利用者アンケートを実施した。 アンケート回収率50.5パーセントのうち総合的な満足度は90.7パーセントとなった。 様々な意見があるなかから改善が望まれる点を検討し改善を図った。また、児童福祉施設最低基準に基づいて、体制を遵守し、保護者への安心、園児の安全を確保した。
(2) 健康・安全・安心が提供できるサービスを実施する。	
① 防災体制の強化 ・ 防火管理委員会を計画的に開催し、組織的な防災体制の充実を図り活動を強化する。 ・ 定期的な防災訓練、定期点検を実施する。 ・ 防災時対策を見直し強化する。	①訓練計画を策定し、毎月の訓練の実施、委員会の開催、訓練評価を行い、改善点を検討しながら強化を図った。 また、災害対策において見直しを図り、非常食の在庫確認と補充を行った。定期点検の実施を年間計画通りに実施した。

<p>② 事故、感染症等の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「是正処置報告書」「予防処置報告書」の活用を強化し、必要なマニュアルの見直し、整備を実施し、事故、感染症等の防止を図る。 ・リスクマネジメント委員会を中心に、園内研修を実施し、保育中の事故防止や不審者侵入防止を含めた安全対策を図る。 ・疾病等への対応を確実に図る。 	<p>②職員会議等で事故報告書の周知徹底を図り、マニュアルの見直しも行った。</p> <p>安全点検表を活用し、安全な環境作りに取り組んだ。</p> <p>疾病・感染症等の情報を捉え、保護者との情報の共有、予防の徹底等迅速な対応を図った。</p> <p>他施設での事故事例を参考に、職員教育、見直し及び周知を図り事故防止に繋がった。</p>
<p>③ 建物・設備の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な建物、設備の点検を実施し、必要に応じて修繕を実施する。また、園児の保育環境および職員の職場環境等で設備等を見直す改善を図る。 	<p>③定期的な点検を行い、必要に応じた修繕を行った。</p> <p>なお、改築に向けて必要な最小限の維持管理に努めた。</p>
<p>(3) 社会・利用者ニーズへの的確な対応</p>	
<p>① 待機児の入所を受け入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体関係機関との連携を図り、情報を獲得する。 ・入所率の分析を行い安全性を含め可能な限り入所を図る。 	<p>①待機児童の状況を把握し、安全性を考慮した上での受け入れを行った。</p>
<p>② 保育・保健・栄養の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達を捉え、保育・保健・栄養の内容を充実させる。 ・保育・保健・栄養の計画および評価を行い、質の向上に努める。 ・子どもの健康および安全に留意し、健康支援に努める。 ・子どもおよび職員にとっての、施設内外の保健的環境や衛生管理の維持および向上に努める。 ・感染症対策を強化する。 ・プレイデイ等をはじめ、各種行事を実施していく。 	<p>②保育所保育指針に基づきながら、子どもの発達を捉え、保育・保健・栄養の内容を充実させた。</p> <p>定期的なカリキュラム会議を開催し、保育・保健・栄養の質の向上に努めた。</p> <p>保健では、全園児健康診断2回、乳児検診月2回、皮膚科検診1回、歯科検診1回、耳鼻科検診1回、ぎょう虫検査2回を実施した。</p> <p>園児および職員に必要な薬品や備品の検討をし、整備を行った。</p> <p>感染症予防の強化を図るため、手洗い、うがい、手指消毒の習慣づけをさらに徹底した。</p> <p>年間予定では、入園式、保護者会、遠足、引渡し訓練、七夕会、法人合同夏祭り、移動動物園、お年寄り会食会(年2回)、敬老会、お月見会、運動会、親子遠足、保育展、おもちゃつき会、生活発表会、卒園式、誕生会(月1回)を予定通り実施した。</p>

	<p>③ 保護者に対する支援を充実する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て等に関する相談や助言を行う専門性を充実させるため、部外研修や園内研修を図る。 ・子育て支援に関する機関や団体等との連携および協力を図る。 ・不適切な養育等の疑いや虐待の疑いがある場合は、子ども家庭支援センター又は、児童相談所に通告をする。 	<p>③園内、園外研修の実施により、専門性を高めた。</p> <p>関係機関や団体等との連携を図り、地域との関わりを持ち保育を実施した。</p> <p>また、虐待等の疑いが見られた事例は2件あり、家庭支援センターに通告をし、指示を仰ぐとともに、対応への協力を得た。</p>
	<p>④ 改築に向け、八王子市と連携をとりながら、協議をすすめていく。</p>	<p>④八王子市の27年度予算が確定し、改築予算が認められ、今後補助金の内示を受けた後、既定方針どおり改築を進めていく。</p>
	<p>⑤ 「子ども・子育て支援新制度」についての知識を得る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内・外研修を受け、新体制を熟知し、将来に向けての保育サービスを検討する。 	<p>⑤外部研修に参加し知識を得、園内研修で共通理解を図った。新制度施行後の保育サービスについて検討し準備を行い、また、運営規程・重要事項説明書等の制度変更及び中核市への移行に伴う整備を併せて行った。</p>
(4) 事業の安定的・効率的な運営		
	<p>① 職員の確保・定着に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士養成校等の連携を強め、確保しやすい関係を更に強化する。 ・人事考課面接等を更に強化し、考課者のコミュニケーション力を高め、職員間のコミュニケーションを深める。 ・業務における達成感、職場における満足感がもてる環境を強化する。 	<p>①主任2名を配置し、職員間の連携を深めることが出来た。そのことにより、コミュニケーションがより高まり、業務において、達成感、満足感をもつ機会が増え、働きがいのある環境を目指すことができた。</p>
	<p>② 安定した経営基盤を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入所率の目標達成を図り、安定的な収入を得る。 ・事業計画と予算との関連を図り事業の安定に努める。 ・事業および予算執行の評価を行い、安定的・効率的な運営に努める。 	<p>②事業の計画、予算どおり収入および支出を執行することができた。</p>
(5) 職員の知識・技術の向上と職場の活性化		
	<p>① 職員の資質向上に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部研修への積極的な参加を勧める。 ・定期的な園内研修を充実させ、知識および技術の向上を図る。 ・新入職員に指導者をつけ、業務への意欲が保持できるように努める。 ・全職員が仕事への意欲向上に努める。 	<p>①職員全員が外部研修に参加するように、積極的に取り組んだ。</p> <p>音楽指導、ベビーマッサージ等の園内研修を行った。</p> <p>新入職員には指導職員をつけ育成した。また、主任保育士が各クラスの指導を行うなど、クラス運営の安定化や職員の意欲保持に努めた。</p>

(6) 地域・後援会との連携	
<p>① 「子育てひろば事業D型」の運営に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅子育て家庭に多くの遊び場および相談の場を提供する。 ・ 親教育のためのプログラムを組み、子育ての不安や困難を取り除いていく。 ・ 子育て講座等を初め、各種行事を実施していく。 	<p>①年間計画どおりに実施しており、特にMama's Café(お茶会)や親教育プログラムの実施を継続的に行い、保育サービス推進費の自主的取組事業として年間80万の収入を得た。</p>
<p>②「病後児保育室」の運営に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病気回復期の児童(0歳児～小学3年生)が早く回復することができるよう努める。 	<p>②八王子市の子育てガイドブックに広告掲載をし、更なる利用増を見込んでいる。</p>
<p>③ 「赤ちゃんふらっと事業」の運営に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の在宅子育て家庭が不安を持たず外出できる設備環境作りに努める。 	<p>③地域の方が、赤ちゃんと一緒に安心して外出を楽しめるように、授乳・おむつ替え・ミルクがつけれる設備環境を提供し効果を得た。</p>
<p>④ 子ども家庭支援ネットワークとの連携を図る。</p>	<p>④家庭支援センターが主催する地域ネットワーク会議に参加し、各機関との連携作りを図った。</p>
<p>⑤ 実習生の積極的な受け入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実習連携校からの受け入れを積極的に行い、採用に繋げられるよう努める。 ・ 次世代の保育士を育成するための指導を図る。 	<p>⑤実習連携校から7名の受け入れをし、次世代の保育士の育成に努めた。</p>
<p>⑥ 子育て拠点としての機能に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園機能がもつ専門性を地域に還元する。 	<p>⑥子育て支援や啓発事業を随時行っている。保育園説明会の開催を行い、保育園がもつ機能を説明し、在宅子育て家庭にも利用しやすい環境を整えた。</p>
<p>⑦ 地域および後援会と連携した行事の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏祭り、バザー等の行事に取り組む。 ・ 地域と合同で防災訓練を実施する。 ・ 町会との懇談会等に参加する。 ・ 地域行事に積極的に参加する。 	<p>⑦夏祭り、バザーを法人、後援会と合同で実施し、他にも地域合同防災訓練を行った。町会役員との懇談会にて事業の説明を行った。また、町会が行う夏祭り、運動会に参加をした。</p>